

豊北地区NF研修修了式が開催されました

去る10月11日（水）、「豊北地区NF研修修了式」が県漁協和久支店において開催されましたので、その様子をお伝えします。

山口県では新規漁業就業者（ニューフィッシャー（NF）と呼んでいます。）の受け入れを積極的に進めており、各種就業支援制度を設けています。

今回長期漁業研修を修了したのは3名です。木原氏は県内の山陽小野田市から、松田氏は長崎県から、そして佐藤氏は遠く北海道からこの地にやってきて、平成27年10月から2年間の長期漁業研修を受け、この度晴れて独立の日を迎えました。



まずは、一人一人に研修修了証が授与されました。



豊浦統括支店の濱本運営委員長より、お祝いの言葉と、今後は地域漁業発展のために一生懸命漁業に励んでほしいとの激励がありました。



豊北地区担い手育成部会の指導者を代表して春永氏から、各人の船酔いや大時化での出漁などのエピソードを交えながら、挨拶がありました。



3名それぞれが、今後の目標や自分の目指す姿など、熱い決意表明がありました。



皆で記念撮影。漁協、行政、地域が全体でバックアップしています。



指導者から贈られた3名の大漁旗



3名とも、それぞれの漁船でヒラマサやアジなどの青物釣り、イカ釣りなどの一本釣り漁業を中心とした経営を行います。

3名の独立により、豊北地区ではこれまでに13名の新規就業者が独立に至りました。これからも皆さんの活躍を応援していきます。